



調査研究等報告書

令和 6 年 7 月 25 日

実施日時	令和 6年 7月 10日（水）～ 7月 11日（木） 1泊 2日
参加者氏名	小川多美子
用務先	埼玉県八潮市八條北小学校、草加市リサイクルセンター、群馬県高崎市タワー美術館
対応者 (研修先講師等)	小学校長、教育長他学校関係者 市役所リサイクルセンター関係者 美術館館長他
目的・内容	教育厚生委員行政視察 ・外国語コミュニケーション能力を育む小中一貫教育を通じた効果的、活持続的な指導体制の視察 ・草加市のリサイクルの様子を伺う ・高崎市タワー美術館の概要と館内施設見学
成果・所感	☆八條北小学校 教室やトイレの入り口、また階段を上がる度など校内至る所で目にする英単語、廊下を歩くと教室の中から聞こえる大きな英語の歌声、一步室内に足を踏み入れると満面笑顔で楽しそうに英語を学んでいる子ども達の姿。先生の教えも素晴らしく、子ども達も一緒に楽しんで学び、見ているこちらと一緒に楽しませて頂いた一時でした。勉強は楽しんでやるものと教えてもらった気がしました。 ☆草加市リサイクルセンター リサイクルについては市民も周知し、実行していると思うがリユースへの取組は伊豆市ではどうでしょう。草加市の展示スペースには新品に近い状態の家具などが元の値の半値以下ではないかと思う低価格で売られていました。これらの物が粗大ごみとして扱われるとしたら勿体ないことです。伊豆市でもリユースへの取組を考えてみたらどうかと思いました。 ☆高崎市タワー美術館 都会の駅前の洗練されたビルの中に立地された美術館でした。館長は修善寺を訪れたことのあるということでした。美術館を作るには一度の展示作品は30点以上で年4回の作品替えが必要だと言うことで伊豆市の所蔵品の数では…？と思いました。